

めざす学校像・子ども像・教員像		課 題	今後の改善方策
<p>○郷土北崎を愛し、基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意志と志を持ち、心豊かにたくましく生きる子どもを育む学校。</p> <p>○一人一人が自分のよさを自覚し、進んで自分の考えを表現・発信することができる子ども</p> <p>○教育者としての使命感を持ち、専門的力量を高め、地域・保護者から信頼される教師。教師の強みを積極的に教育活動に活かし、自分のよさを発揮する教師。</p>		<p>○さらなる学力の向上に努める</p>	<p>○全国学力学習状況調査、福岡市定着度調査等における結果としての学力の向上を図る取組を充実させる。</p> <p>○同一区を中心として公開されるA事業授業公開に向け共通実践した内容を他教科にも生かす取組を充実させる。</p>
		<p>○児童一人一人の自尊感情及び表現意欲の向上に努める。</p>	<p>○児童が自分の考えに自信を持ち、堂々と表現できる発表の場を教科、特別活動、総合的な学習の時間等を通してさらに開発していく。</p> <p>○児童による相互評価の在り方を検討・工夫していく。</p>
		<p>○職員一人一人の授業力の向上と若手教員の育成に努める。</p>	<p>○A事業授業公開に向けた、校内テーマ研究の充実及び職員一人一人の授業力の向上を図る</p> <p>○初任者及び若年教員への指導・助言を中心とした職員相互の授業交流を行う。</p>
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
<p>児童の学力向上を目指した語彙力を高める取り組みの充実</p>	<p>○教科に応じたノートの使い方、分かりやすい整理の仕方、学年に応じたノート整理の仕方等について1学期中に共通理解を図り、研究授業公開にまでに統一を図る。学力向上部とも連携を図り実施する。</p> <p>○学校司書と連携した、読書週間や児童の委員会活動等取り組みの充実。児童の読み上げ冊数で前年度を上回る。</p> <p>○定着度テスト等におけるB問題の5P以上アップを国語・算数ともに達成する。</p>	<p>○テーマ研究(算数)の教科を中心に、書く活動の充実に関心がけている。自学ノートや家庭学習における日記などにおいても記述量が増えるなど一定の成果が見られた。一方で、一単位時間内におけるノート使用のルールなど、今後はより具体的な共通理解が図られるようにしたい。</p> <p>○図書委員会を中心となった読書週間のユニークな取組が行われた。児童の読み上げ冊数については前年度比を500冊以上、上回ることができている。</p> <p>○6年生全国学力学習状況調査についてはB問題が5%ダウンするなど応用力を活用したB問題の克服には今後も継続した努力が必要である。</p>	
<p>児童の自尊感情と行動意欲を高める取り組みの充実</p>	<p>○各教科、毎時間における言語活動及び交流活動を充実させる。学期末年度末における職員評価90%以上。</p> <p>○生活習慣調査等における児童の自己評価の変容10%以上の達成。</p> <p>○学年代表としての行事等における発表の場や保護者・地域の方等を対象とした発表、プレゼンの場等を一人年間1回以上設定する。</p>	<p>○各教科における毎時間ごとの交流活動の充実について、職員評価の90%以上は達成できた。</p> <p>○学期ごとに児童に行った生活習慣に関わるアンケートでは、全体的に向上が見られたものの、目標設定値が高く、10%の変容については達成できなかった。</p> <p>○学期始め、学期終わりの始業式・終業式における学年児童代表発表や、保護者・地域を対象とした公開学年行事等において、全児童一人一回以上の発表や自分の考えを表現する機会を設けることができた。</p>	
<p>児童の体力向上と健康増進への意欲を高める取り組みの充実</p>	<p>○体力テストの結果分析を行い、全学年教師での実態把握と交流を行う(1学期中)。課題の改善を年度末までに行う。</p> <p>○児童会、委員会活動等児童が主体となった体力向上の集会的取り組みを年間2回以上行う。</p> <p>○学年の体力に応じた鍛錬遠足を実施する。コースや目的地等児童の体力にあった選択も図られるようにする。また、</p> <p>○完歩賞等児童の励みとなる手立てを工夫する。</p>	<p>○全学年に実施している体力テストの平均値は、全校児童の平均値が全体として標準的な体力の平均を上回る結果となった。体育の学習開始時に行うサーキットトレーニングや雨天時以外の外遊びの推奨が効果を上げていると思われる。</p> <p>○縄跳び集会や持久走会前の休み時間を使ったランニングなど、児童を中心とした取組が子ども達の意欲の向上につながり、どの学年も積極的に取り組むことができた。</p> <p>○鍛錬遠足については、1～3年生については、校区にある2つの山から自分に合ったコースを選び、保護者の協力も得ながら一緒に登ることができた。4年生以上については、学年単独での鍛錬的な遠足を実施できた。</p>	
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<p>○年度当初の学校経営方針に振り返りながら、学校サポーター会議が進行されていることはよい進め方である。</p> <p>○学校としての成果や行事の説明を通じた児童の様子や報告と共に、不登校傾向の児童や配慮を要する児童などへの学校としての対応などについても、可能な範囲で説明及び情報提供をしてほしい。</p>			